

国道4号 矢吹鏡石道路

計画段階評価

第3回 説明資料

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・	1
2. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・	5
3. 対応方針（原案）の検討	・ ・ ・	21
4. 自治体への意見照会結果	・ ・ ・	26
5. 対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・	28

国土交通省 東北地方整備局

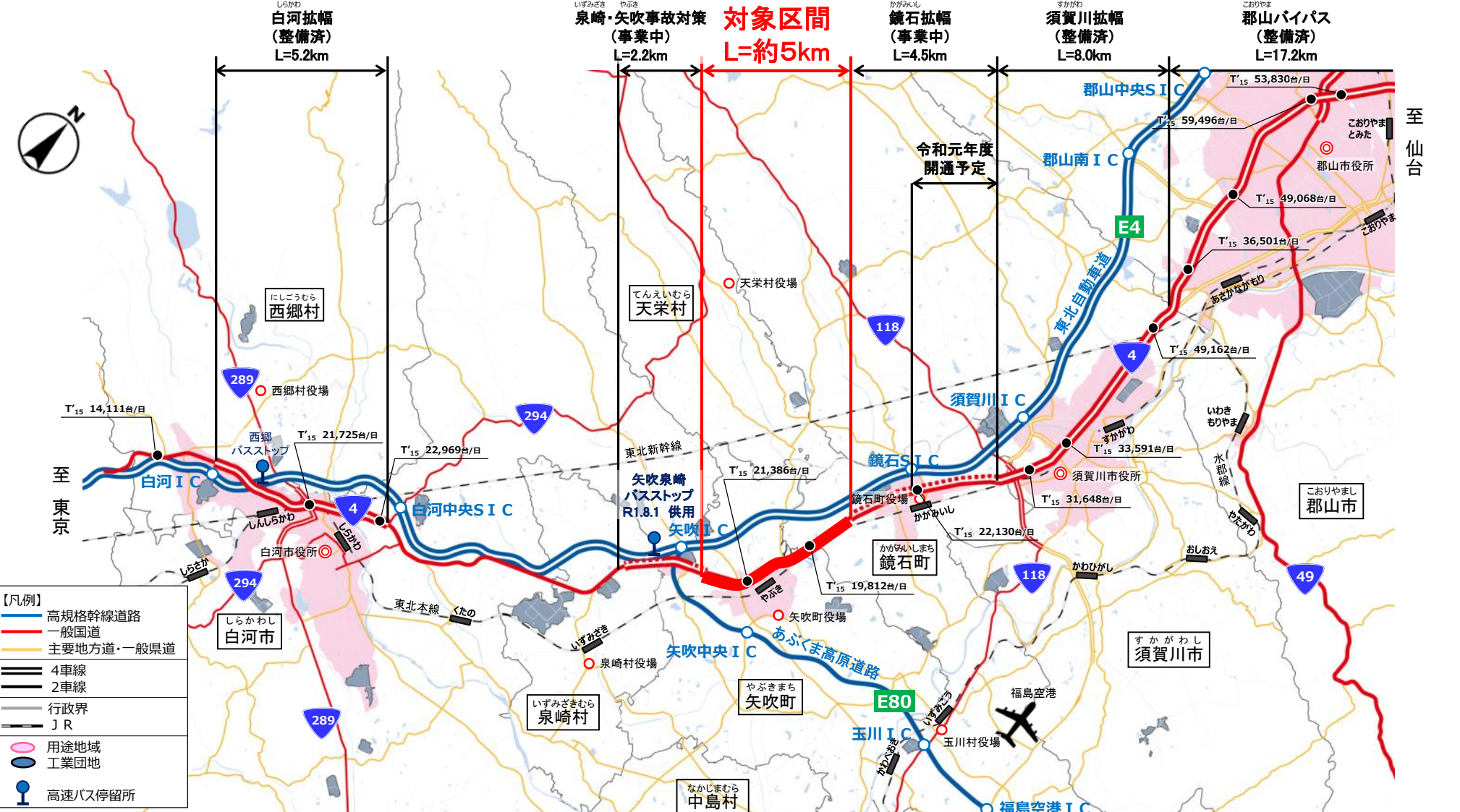
令和元年12月4日

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 評価対象区間

- 対象区間は国道4号の矢吹町と鏡石町を結ぶ延長約5kmの2車線区間。
- 福島県南部の国道4号については、交通量の増加と混雑状況を踏まえ、順次4車線化事業を進めており、対象区間は鏡石拡幅事業と泉崎・矢吹事故対策事業に挟まれた事業の予定が未計画の区間である。

【図1】国道4号の整備状況



1-2. 前回審議内容

◇第23回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

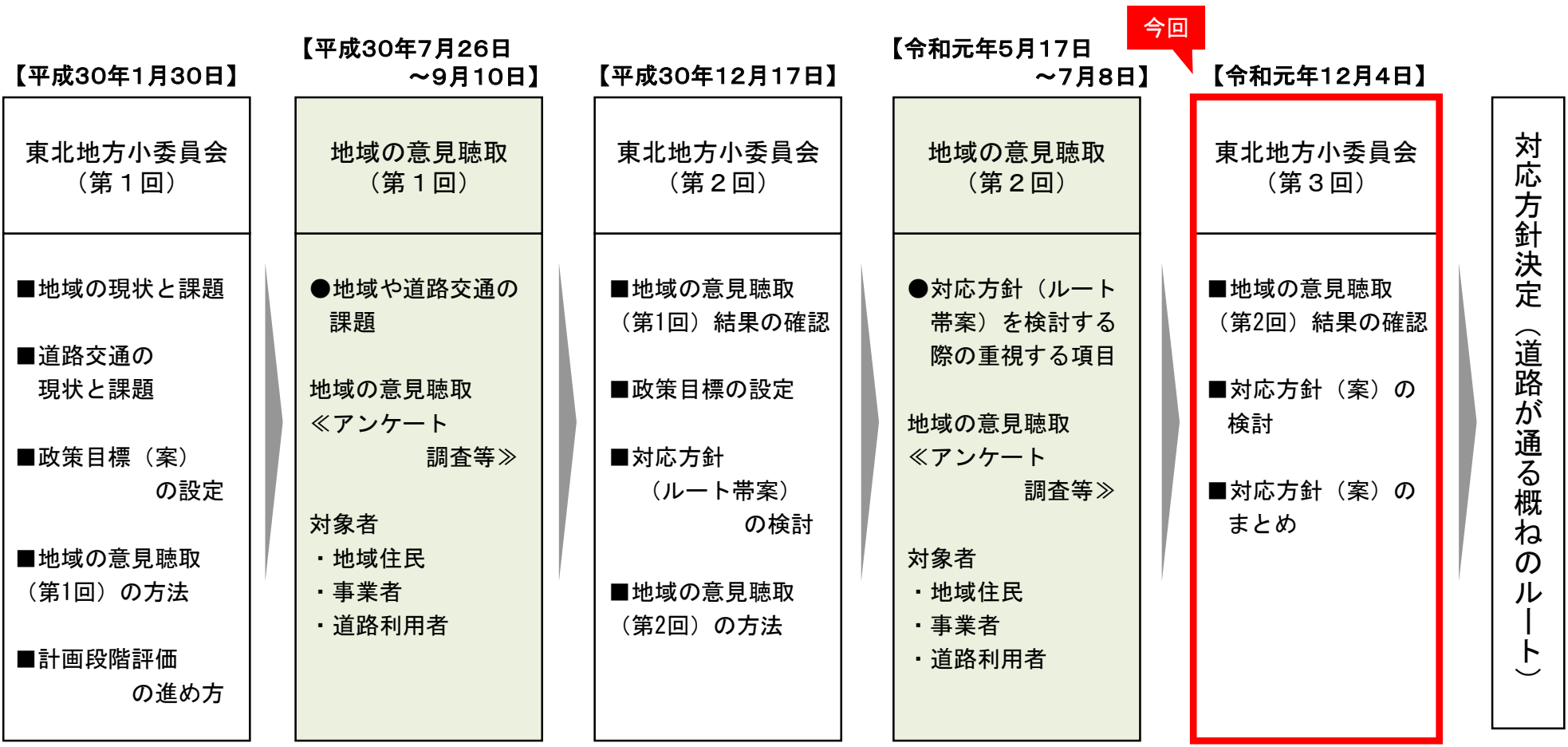
- 実施日：平成30年12月17日（月）開催
 主な議事：①地域の意見聴取（第1回）結果の確認
 ②政策目標の設定
 ③対応方針（ルート帯案）の検討
 ④地域の意見聴取（第2回）の方法

◇前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
【ルート帯案について】	
<ul style="list-style-type: none"> 交通容量の確保にあわせ「信号集約」や「右折レーン設置」などを計画するのであれば、アンケートにその内容を記載すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートのルート帯(案)比較表に、現道拡幅案にあわせて実施する「信号集約」と「右折レーン設置」を記載。 【第2回アンケート 4、5ページ参照】
<ul style="list-style-type: none"> アンケートに主要渋滞箇所や死亡事故多発区間の整備方針を記載した方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートのルート帯(案)比較表に、主要渋滞箇所と死亡事故多発区間の対応について、整備方針と整備により期待される効果を記載。 【第2回アンケート 4、5ページ参照】
【意見聴取方法について】	
<ul style="list-style-type: none"> アンケート【問5】は、『3つ回答』としているが、『3つまで回答』とすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート票の【問5】を「特に重視すべき項目」を3つまで選択に修正。 【第2回アンケート 7ページ参照】
<ul style="list-style-type: none"> アンケート【問5】で『重視すべき項目を3つ回答』となっているが、選択項目の中でも特に重要と考えている意見をくみ取れる様に工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート票の【問6】を「特に重視すべき理由」を回答頂くように修正。 【第2回アンケート 7ページ参照】
<ul style="list-style-type: none"> アンケート【問5】で『重視すべき項目を3つ回答』となっているが、重視する項目が3つ以上と考えている意見をくみ取れる様に工夫すること。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート票の【問7】に「選択した特に重視すべきものの以外の項目」について回答頂くように修正。 【第2回アンケート 7ページ参照】

1-3. 計画段階評価の進め方

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)



地 方 小 委 員 会

2. 第2回意見聴取の結果

2-1. 第2回意見聴取の実施内容

○意見聴取はアンケート調査及びヒアリング調査を以下のとおり実施。

意見聴取期間: 令和元年5月17日(金)～令和元年7月8日(月) (約2ヶ月)

【表1】アンケート調査票の回収状況

調査票形式		配布回収数		
		配布数※1	回収数※2	回収率
地域住民	郵送配布・郵送回収	11,646	1,952 (2,988)	16.8%
道路利用者	留置アンケート※3	-	358	-
	WEBアンケート	-	101	-
住民アンケート合計		-	2,411 (3,447)	-
事業者	郵送配布・郵送回収	484	170	35.1%
	WEBアンケート	-	12	-
事業者アンケート合計		-	182	-

※1: アンケートは対象地域に全戸配布

※2: アンケート調査票には回答ハガキを2枚同封

回収数は、配布部数のうち1枚目の回収数、括弧内は1枚目・2枚目の合計の回収数

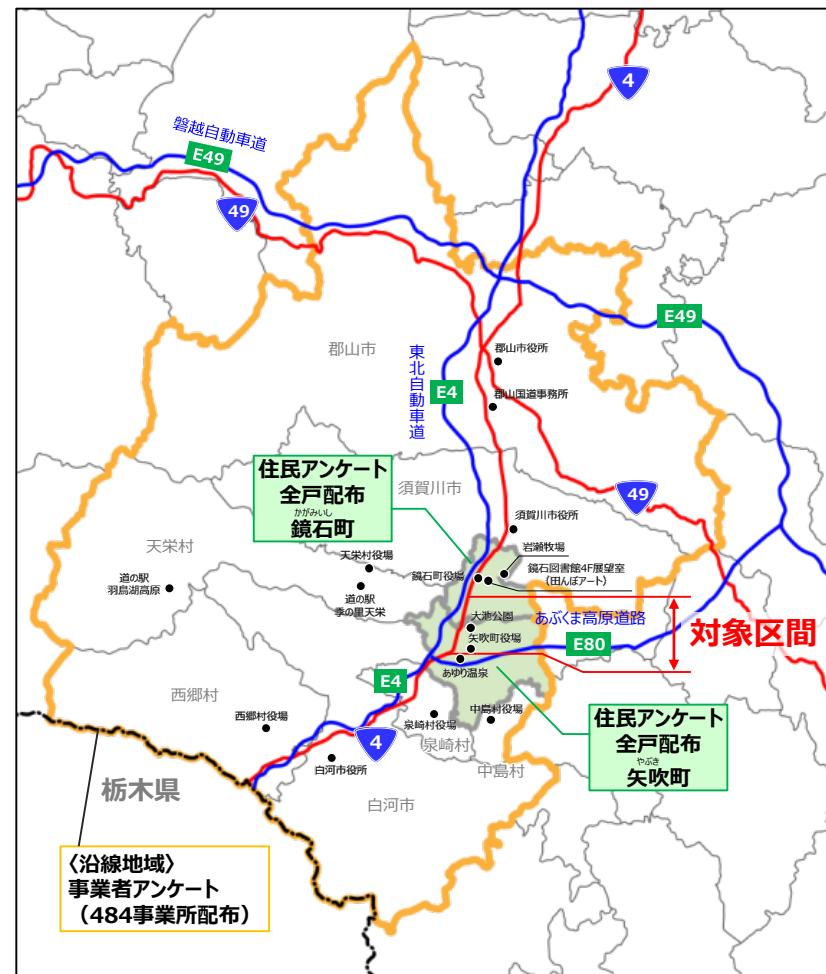
※3: 留置アンケートは、【図1】の沿線地域内にある国道事務所、市町村役場、道の駅、観光施設にアンケート調査票・投函ボックスを常設

【表2】ヒアリング調査の対象※4

分類	対象数	分類	対象数
自治体	4	トラック協会	1
観光協会	1	公共交通機関	2
警察機関	2	農業協同組合	2
教育機関	3	消防機関	2
福祉関連機関	2	医療機関	1
経済団体	2	沿線企業	2
合計			24

※4: ヒアリング先は第1回意見聴取の対象のほか、沿線企業の利用状況に関する意見を伺うため、沿線企業2社をヒアリング先に追加。

【図1】アンケート調査票の配布範囲



【凡例】

- 住民アンケート配布先 : 矢吹町、鏡石町
- 事業者アンケート配布先 : 矢吹町、鏡石町、郡山市、白河市、須賀川市、西郷村、泉崎村、中島村、天栄村
- アンケート留置施設

2-2. 意見聴取に関する広報の実施状況

- ①新聞広告 : 福島県で発行部数の多い新聞（福島民報・福島民友）にアンケートへの協力を呼びかける広告を掲載
- ②ホームページ : 国土交通省郡山国道事務所、矢吹町、鏡石町のホームページにアンケート調査を案内
- ③地域への情報提供 : 矢吹町、鏡石町発行の広報誌でアンケート調査の案内チラシ折込、国道事務所、市町村役場、道の駅、観光施設へのアンケートポスターの掲示

①新聞広告

【図1】福島民報・福島民友（令和元年6月7日 朝刊）

アンケートにご協力をお願いします。
国道4号（矢吹町北浦～鏡石町久来石間）の計画検討に関する第2回アンケート調査を実施しております。

アンケート実施期間：令和元年（2019年）7月8日（月）まで

返信はがきによる回答
 インターネットによる回答

お問い合わせ先
 国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所 調査課
 〒963-0117 福島県郡山市南一丁目5番5号 TEL:024-946-8164
<http://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/>

②ホームページ

【図2】国土交通省、自治体HPへのリンクページ掲載

国土交通省 郡山国道事務所
 ホーム 道路情報 地域情報 主な事業 入札・契約

お役立ちリンク集
 7/8 まで
 国道4号（矢吹町～鏡石町間）

実施期間 令和元年（2019）7/8 まで
 国道4号（矢吹町～鏡石町間）

③地域への情報提供

【図3】広報誌への案内チラシ折込

国道4号（矢吹町北浦～鏡石町久来石間）の計画検討に関する地域の意見聴取（第2回）実施中～皆様のご協力をお願いします～

意見聴取実施期間 令和元年（2019）7月8日（月）まで

回収ボックス例
 回収ボックス設置箇所

～アンケートへのご協力をお願いします～

【図4】アンケートポスター掲示

アンケートブース

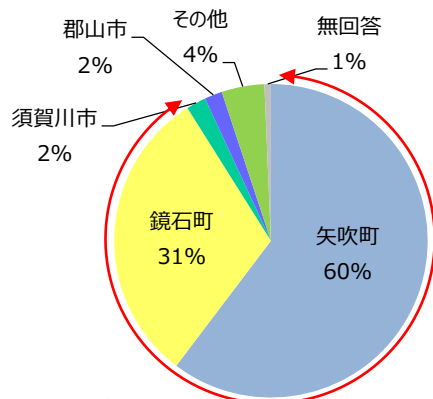
2-3. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査)

- 住民アンケートでは、矢吹町・鏡石町の2町で約9割を占め、対象2町の世帯数の割合と概ね一致しており偏りなく回答を得ることができた。留置アンケート、WEBアンケートにより矢吹町・鏡石町以外からも広く意見が得られた。
- 事業者アンケートでは、事業所の多い郡山市が約4割を占めているが、回収率では矢吹町が約5割を超え関心が高い。

あなたについてお聞きます。(住所)

住民アンケート

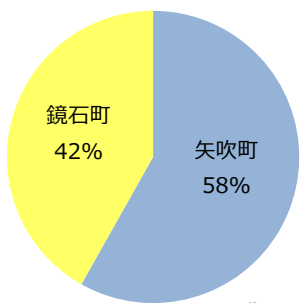
【図1】回答者居住地分布



回答者数 N=3,447

矢吹町・鏡石町
約9割

【参考】市町別世帯数の割合



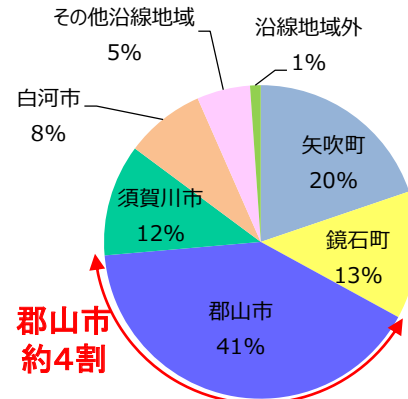
出典：H27国勢調査

【表1】調査手法別回収数

	回収数				
	郵送	留置	WEB	合計	
矢吹町	1,901	142	36	2,079	
鏡石町	974	65	21	1,060	
郡山市	17	28	18	63	
須賀川市	24	45	1	70	
その他	天栄村	0	4	2	6
	白河市	14	15	5	34
	西郷村	12	33	1	46
	泉崎村	4	6	1	11
	中島村	7	5	0	12
	その他福島県	14	12	6	32
	福島県外	1	0	10	11
無回答	20	3	0	23	
合計	2,988	358	101	3,447	

事業者アンケート

【図2】回答者所在地分布



回答者数 N=182

郡山市
約4割

【表2】アンケート回収状況

	配布数	回収数			回収率 (郵送)
		郵送	WEB	合計	
矢吹町	64	33	3	36	52%
鏡石町	63	23	1	24	37%
郡山市	231	70	4	74	30%
須賀川市	57	20	1	21	35%
白河市	37	13	2	15	35%
その他沿線地域	32	11	0	11	34%
沿線地域外	-	-	1	1	-
合計	484	170	12	182	35%

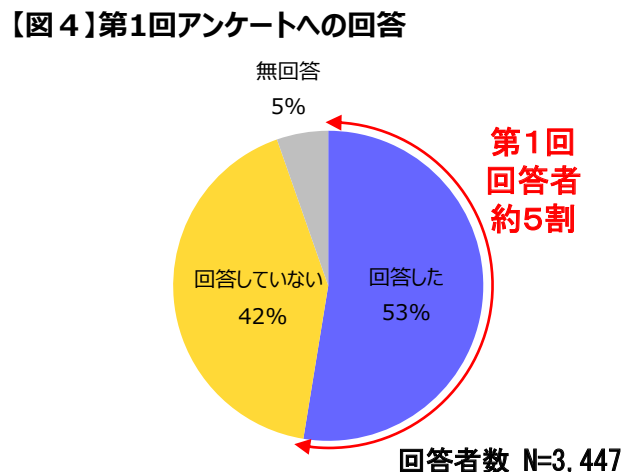
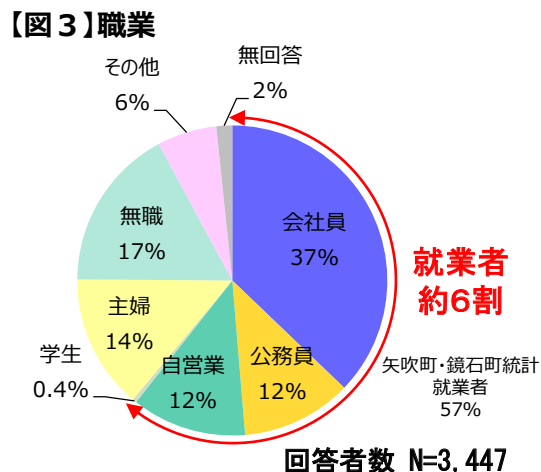
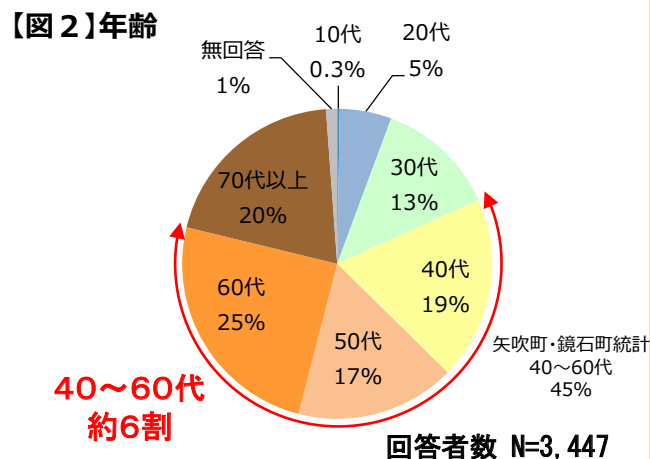
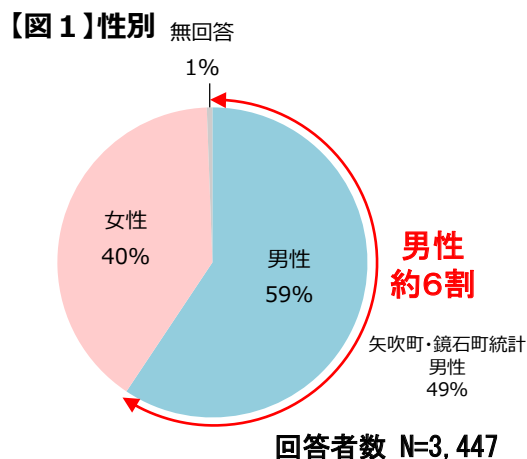
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

2-3. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査)

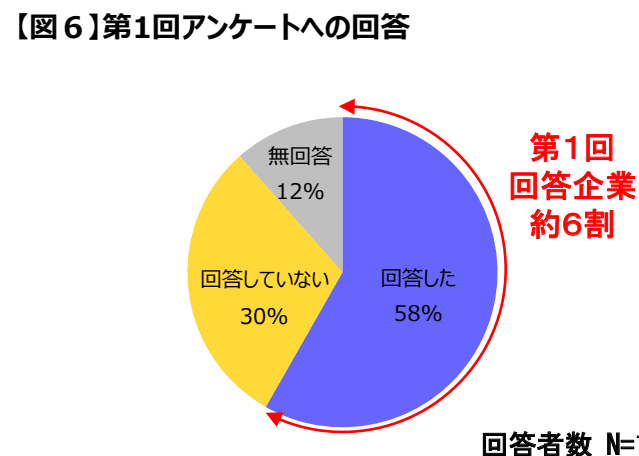
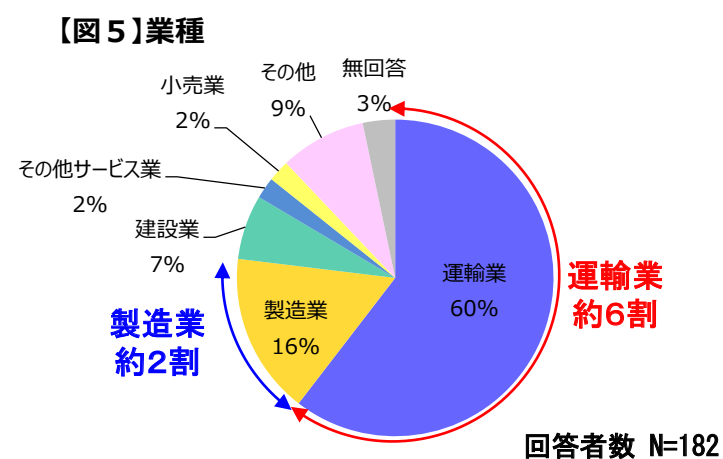
- 住民アンケートの属性は、性別は男性が約6割、年齢構成は40～60代が約6割、職業は就業者が約6割を占めた。
- 事業者アンケートの属性は、業種は「運輸業」が約6割、「製造業」が約2割を占めた。
- 第1回アンケートへの回答は、回答した方が住民が約5割、事業者が約6割を占めた。

あなたについてお聞きます。(住民：性別、年齢、職業、第1回アンケートへの回答 事業者：業種、職業、第1回アンケートへの回答)

住民アンケート



事業者アンケート



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

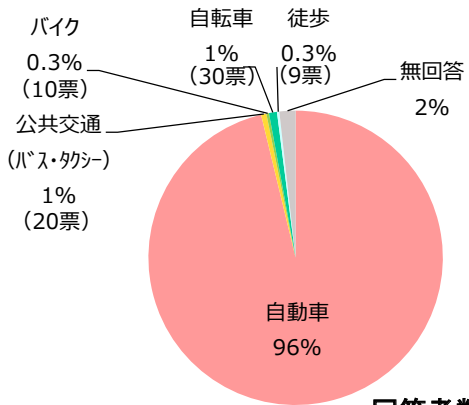
2-3. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査)

- 利用手段は住民・事業者アンケートとも自動車(乗用車)が9割以上を占めるが、住民アンケートでは自転車、徒歩、バイク、公共交通の利用者からも意見を得られた。
- 利用目的は住民アンケートでは日常的な利用が約4割を占め、事業者アンケートでは運送・運搬が約7割を占めた。
- 利用頻度は住民アンケートでは週3回以上の利用が約5割を占め、事業者アンケートでは週3回以上の利用が約8割を占めた。

国道4号(矢吹町北浦~鏡石町久来石間)の道路利用についてお聞きます。

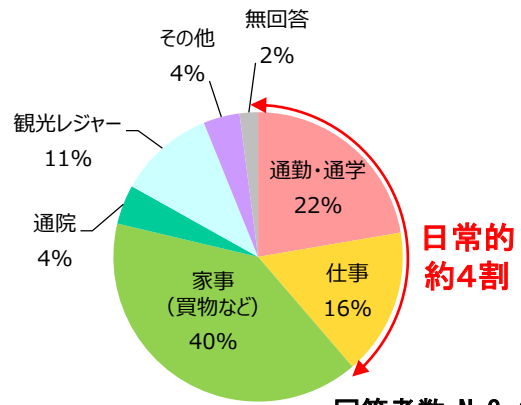
住民アンケート

【図1】利用手段



回答者数 N=3,447

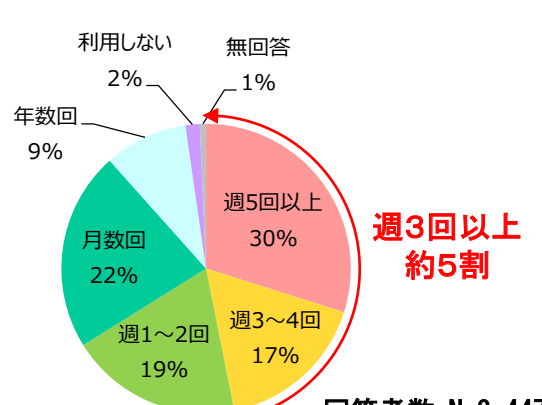
【図2】利用目的



回答者数 N=3,447

日常的約4割

【図3】利用頻度

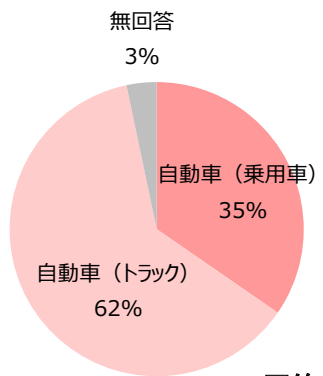


回答者数 N=3,447

週3回以上約5割

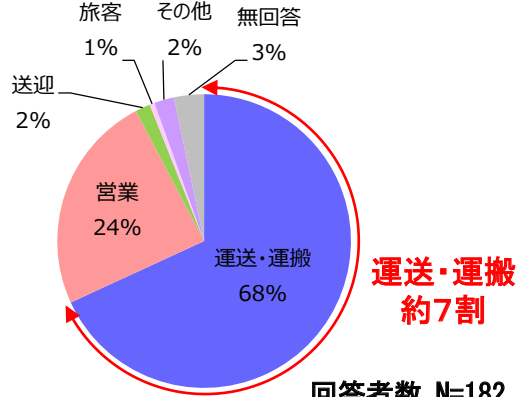
事業者アンケート

【図4】利用手段



回答者数 N=182

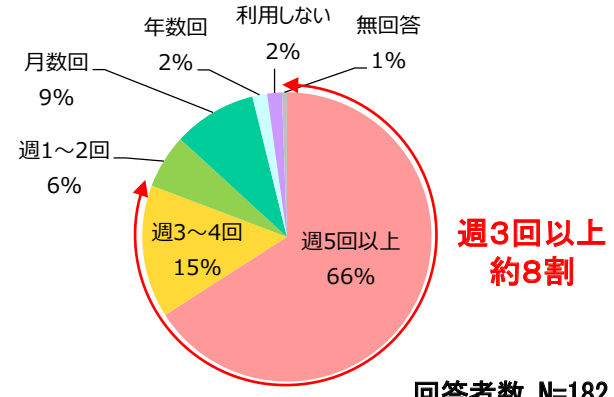
【図5】利用目的



回答者数 N=182

運送・運搬約7割

【図6】利用頻度



回答者数 N=182

週3回以上約8割

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

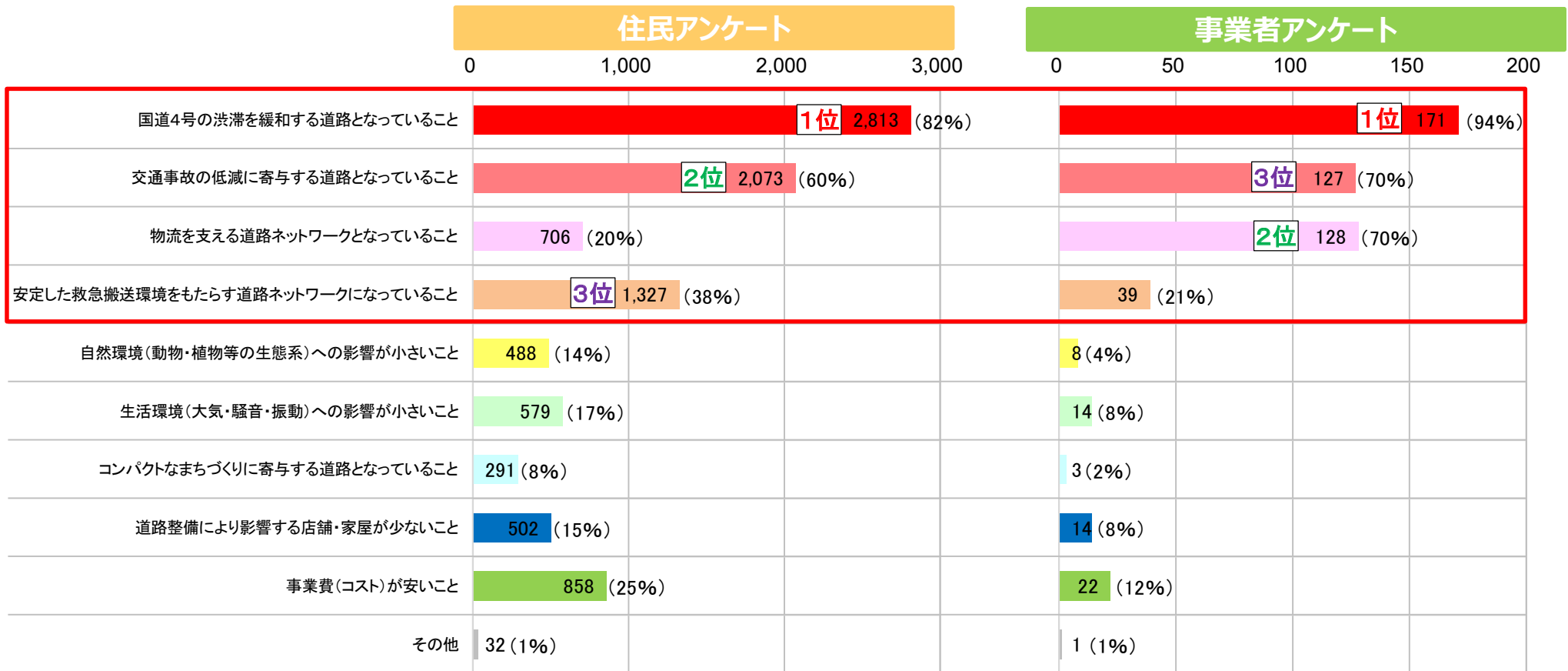
2-3. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査)

- 対策案を検討する際に特に重視すべき項目では、住民、事業者の両アンケートで「国道4号の渋滞を緩和する道路となっていること」が最も多い結果となった。
- 次いで、住民では、「交通事故の低減」、「安定した救急搬送」への意見が多く、事業者では、「物流支援」、「交通事故の低減」への意見が多かった。

重視すべきと思われる項目

【問5】今回、ルート帯案を検討していますが、対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。

【図1】重視すべきと思われる項目



回答者数 N=3,447、総意見数 N=9,669

回答者数 N=182、総意見数 N=527

※ () は、回答者数に対する割合

2-3. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査)

- 重視すべき理由としては、交通事故の低減に関して、「子供や自転車の通行に対しての歩道整備の必要性」について意見を頂いた。
- 救急搬送に関して、「2次救急医療機関である会田病院へのアクセス性」について意見を頂いた。
- 自然環境に関して、「埋蔵文化財包蔵地となっている袖ヶ館城跡等への影響」について意見を頂いた。
- コンパクトなまちづくりに関して、「中心市街地の賑わいに関する懸念」の意見を頂いた。

【問6】問5でチェックした項目について特に重視すべきと思う理由について、ご自由にお書き下さい。 ※自由回答

項目	主な意見の具体例
国道4号の渋滞を緩和する道路 【482件】(住民:448件 事業者:34件)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞により、通勤時間に費やす時間が長くストレスがたまる。【住民】 ・通院で高齢者を送迎していますが、朝はいつも渋滞していてストレスがある。【住民】 ・荷物を遅延なく輸送出来るように道路整備をお願いしたい。【事業者】
交通事故の低減に寄与する道路 【228件】(住民:216件 事業者:12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道が整備されると子供や自転車の通行に対して、運転する側も安心できますので、ぜひご検討下さい。【住民】 ・歩道のない区間があり、道路がせまく感じる。自転車が車道を走行すると危険なので、国道4号を拡幅してほしい。【住民】 ・当該区間は4車線区間に挟まれた道路のため、渋滞を引き起こし、事故につながっている。【事業者】
物流を支える道路ネットワーク 【36件】(住民:28件 事業者:8件)	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な輸送路なので効率が良くなる道路整備をお願いしたい。【事業者】
安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワーク 【80件】(住民:77件 事業者:3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに大きな病院は会田病院しかないので救急搬送時に渋滞にまきこまれるのはつらい。安定した搬送環境を望みます。【住民】 ・会田病院の利用者は結構多いと思いますので矢吹町内から会田病院へのアクセスを良くして欲しい。【住民】 ・国道4号は1車線で道路が狭いため、緊急車両に道を譲る時に苦労した事がある。【住民】
自然環境(動物・植物等の生態系)への影響 【74件】(住民:73件 事業者:1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスを通して自然を壊さないでほしい。貴重な森や田園を守り残したい。【住民】 ・バイパスは矢吹町の史跡である袖ヶ館城跡、三十三観音史跡公園への影響に配慮して欲しい。【住民】
生活環境(大気・騒音・振動)への影響 【18件】(住民:18件 事業者:0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動等の対策は、ルート上の対策案ではなく、日々の点検、道路状況の確認の積み重ねにより緩和できる。【住民】
コンパクトなまちづくりに寄与する道路 【18件】(住民:17件 事業者:1件)	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進むこれからは、出来るだけコンパクトに街を集中させる政策が必要。中心部の賑わいを損なわない計画として欲しい。【住民】
道路整備により影響する店舗・家屋 【12件】(住民:12件 事業者:0件)	<ul style="list-style-type: none"> ・国道4号沿道の事業者が、今までどおり営業できることを望む。それが矢吹町の経済の潤いが維持できることである。【住民】
事業費(コスト) 【79件】(住民:75件 事業者:4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費だけでなく、将来の維持管理費用も考慮した上で検討して欲しい。【住民】 ・経済性を重視すべき。人口減少のなかでバイパスを新たに作る必要はない。【事業者】

2-3. 第2回意見聴取の結果(アンケート調査)

- 主な意見として、「整備方針」に対する意見が多く、バイパス整備や拡幅整備のメリット・デメリットについて意見が寄せられている。
- 「自転車歩行者、交通弱者の利用環境」について、子供や高齢者の利用の多い歩道等について意見が寄せられている。

【問7】問5でチェックした項目以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書き下さい。(自由回答)

【図1】その他重視すべきと思うこと



合計：回答者数 N=888、総意見数 N=930
 住民：回答者数 N=854、総意見数 N=891
 事業者：回答者数 N=34、総意見数 N=39

【表1】その他重視すべきと思うこと

分類	主な意見
整備方針に関する意見 【190件】 (住民：187件、事業者：3件)	案①現道拡幅案の肯定的意見 75件 ・矢吹駅周辺が町の中心市街地なので、 町外の方が中心市街地に立ち寄りやすい様に拡幅してほしい。 案①現道拡幅案の否定的意見 4件 ・現道拡幅すると、容易に横断できなくなる。 案②現道拡幅+部分バイパス案の肯定的意見 62件 ・ バイパスができれば、4号、バイパス、高速道路の3本になり災害や緊急時にスムーズになる。 案②現道拡幅+部分バイパス案の否定的意見 49件 ・三十三観音などの 史跡公園周辺の景観が壊されることになりかねない。
早期整備に関する意見 【125件】 (住民：120件、事業者：5件)	・とにかく工事を早急に始め、出来る限り早く完成させてほしい ・早期に着工して年数をかけないで完成してほしい。
自転車歩行者、交通弱者の利用環境に関する意見 【66件】 (住民：64件、事業者：2件)	・ 歩道が途切れ途切れになっているため、子供の安全な通学路を確保してほしい。 ・今後、高齢者が増えるので、自転車、歩行者が安全に利用できる道路整備をお願いしたい。
地域の発展につながる整備に関する意見 【53件】 (住民：50件、事業者：3件)	・他の市町村から矢吹町を訪れたいような道路になればよい。 ・町の経済的発展についてマイナスとならないこと。
信号減少または立体化に関する意見 【43件】 (住民：40件、事業者：3件)	・信号が多いことも渋滞の原因の一つだと思う。 ・交差道路は立体交差として、渋滞を緩和してほしい。
4号の横断や4号への出入りに関する意見 【27件】 (住民：26件、事業者：1件)	・国道4号を横断して田畑に向かうが、整備後に横断できるのか心配。 ・国道4号へのアクセス道路を集約して、安全対策を図ってほしい。
右左折レーンの設置に関する意見 【14件】 (住民：13件、事業者：1件)	・国道4号を4車線化した場合、信号交差点には右折レーンを付けてほしい。
工事に伴う規制に関する意見 【13件】 (住民：13件、事業者：0件)	・工事中は事故のリスクが増える。工事中の事故防止策をお願いします。
白河まで全線4車線化に関する意見 【12件】 (住民：12件、事業者：0件)	・白河～鏡石間すべてを4車線にする事を願っています。
道路整備に対する否定的な意見 【23件】 (住民：23件、事業者：0件)	・自分が利用している時間帯ではこの区間で渋滞に悩まされることはなかった。 ・現状で不自由なく暮らしていけます。財政を圧迫する様な大事業は必要ない。

2-4. 第2回意見聴取の結果(企業・関係機関ヒアリング)

- 企業・関係機関へのヒアリングでは、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき視点等について意見をいただいた。
- 交通事故の低減に関して、教育機関より「通学路の安全性確保」について伺った。
- 救急搬送環境に関して、消防機関より「救急搬送ルートとしての利用」について伺った。
- 自然環境に関して、自治体より「埋蔵文化財包蔵地で観光資源でもある袖ヶ館城跡に対する配慮」について伺った。
- コンパクトなまちづくりに関して、自治体より「コンパクトで利便性の高い市街地形成」について伺った。

【表1】企業・関係機関ヒアリングの主な意見

項目	主な意見
国道4号の渋滞を緩和する道路 (21件)	・バスの定時運行に影響があるため渋滞緩和を望む。バス運行ルートの一部であるため、現道拡幅の整備が望ましい。 【公共交通機関】
交通事故の低減に寄与する道路 (17件)	・ 国道4号は歩道が不連続で大型車が多いため、通学路として利用していない。 国道4号に並行する町道を通学路指定しているが、幅員が狭く、朝夕は自動車の交通量が多いため、安全面に不安がある。【教育機関】 ・歩道が狭く、自転車と歩行者のすれ違いの際には接触の恐れがある。歩道が広がるとすれ違いの際の危険も無くなる。 【福祉関連機関】 ・赤沢工業団地の従業員が国道4号を自転車で通勤しているため、両側歩道整備をお願いしたい。【沿線企業】
物流を支える道路ネットワーク (12件)	・東京方面への輸送が多い地域であるが、一般道ルートでは選択肢が国道4号の一択しかない。【トラック協会】
安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワーク (7件)	・2車線で幅員が狭く、患者の救急搬送に十分なスペースが確保できていない。国道4号を整備することで、救命率向上が期待できる。【医療機関】 ・矢吹町は、JRより東側に居住地域が広がっており、会田病院への搬送も多く、 現道より西側にバイパスを整備しても遠回りになるため現在の国道4号を利用 する。【消防機関】
自然環境(動物・植物等の生態系)への影響(2件)	・矢吹町では、戦後、羽鳥ダムが完成し水が豊富に供給されるようになり、開拓が進み豊かな農村地帯となっている歴史から、「自然と共生した環境にやさしいまちづくり」を目指している。【自治体】 ・国道4号西側は田畑が広がっており、 埋蔵文化財包蔵地となっている袖ヶ館城跡は、高台からの景観が観光資源にもなっており、配慮されたルート検討が望ましい。 【自治体】
生活環境(大気・騒音・振動)への影響(1件)	・矢吹町では騒音・振動に関する苦情は無い【自治体】
コンパクトなまちづくりに寄与する道路(4件)	・矢吹町では平成7年から人口減少に転じている。人口減少社会に対応したまちづくりとして、矢吹駅周辺への都市機能集積を進めており、 コンパクトで利便性の高い市街地形成に繋がる道路整備が望ましい。 【自治体】 ・町の空洞化に繋がるようなルートは望まない。【経済団体】
道路整備により影響する店舗・家屋(0件)	・意見無し
事業費(コスト)(2件)	・税金を使っている以上、安く整備してほしい。【沿線企業】

2-5. 第2回意見聴取の結果 とりまとめ

- 住民、事業者アンケートの結果、対策案を検討する際に重視すべき項目として、「交通の円滑化」、「安全性の確保」、「救急搬送環境の確保」、「物流支援」に寄与する道路が求められている。
- 企業・関係機関ヒアリングの結果、「通学路の安全性確保」、「救急搬送ルートとしての利用」、「埋蔵文化財の包蔵地で観光資源でもある袖ヶ館城跡に対する配慮」、「コンパクトで利便性の高い市街地形成」といったルート検討に必要な視点が得られた。

アンケート調査 対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目

	住民アンケート		事業者アンケート	
	票数	割合	票数	割合
国道4号の渋滞を緩和する道路となっていること	2,813	(82%)	171	(94%)
交通事故の低減に寄与する道路となっていること	2,073	(60%)	127	(70%)
物流を支える道路ネットワークとなっていること	706	(20%)	128	(70%)
安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークとなっていること	1,327	(38%)	39	(21%)
自然環境(動物・植物等の生態系)への影響が小さいこと	488	(14%)	8	(4%)
生活環境(大気・騒音・振動)への影響が小さいこと	579	(17%)	14	(8%)
コンパクトなまちづくりに寄与する道路となっていること	291	(8%)	3	(2%)
道路整備により影響する店舗・家屋が少ないこと	502	(15%)	14	(8%)
事業費(コスト)が安いこと	858	(25%)	22	(12%)
その他	32	(1%)	1	(1%)
	回答者数 N=3,447 総意見数 N=9,669		回答者数 N=182 総意見数 N=527	

企業・関係機関ヒアリング調査 具体的なルートを検討する際に配慮すべき視点

■交通安全
 国道4号は歩道が不連続で大型車が多いため、通学路として利用していない。
 国道4号に並行する町道を通学路指定しているが、幅員が狭く、朝夕は自動車の交通量が多いため、安全面に不安がある。
 【教育機関】

■救急搬送
 矢吹町は、JRより東側に居住地域が広がっており、会田病院への搬送も多く、現道より西側にバイパスを整備しても遠回りになるため現在の国道4号を利用する。
 【消防機関】

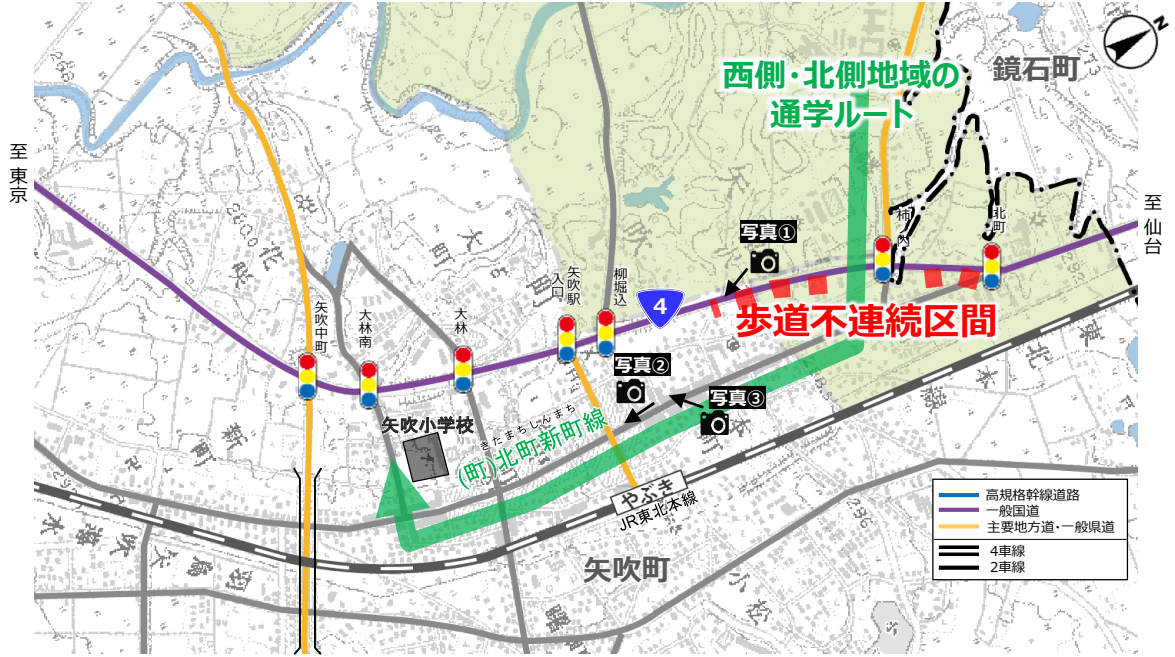
■自然環境
 埋蔵文化財包蔵地となっている袖ヶ館城跡は、高台からの景観が観光資源にもなっており、配慮されたルート検討が望ましい。
 【自治体】

■まちづくり
 矢吹町では、矢吹駅周辺への都市機能集積を進めており、コンパクトで利便性の高い市街地形成に繋がる道路整備が望ましい。
 【自治体】

2-6. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(交通安全)

- 国道4号は歩道の不連続区間があるため、通学路として利用されていない。
- 通学路指定されている(町)北町新町線は、歩道は連続しているものの、歩道幅員が約1mと狭い上、車道と歩道が分離されていないため、歩行者の安全確保が問題視されており、地域の主となる歩行者ネットワークに対し歩行空間が未整備となっている。

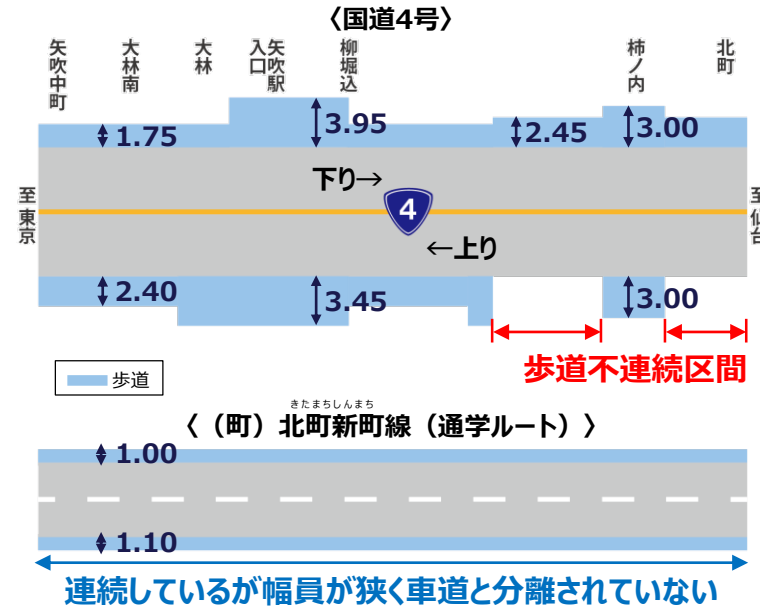
【図1】西側・北側地域から矢吹小学校への通学ルート



【写真1】国道4号の歩道不連続区間



【図2】国道4号および並行町道の歩道整備状況



【写真2】北町新町線の通学時間帯の状況



【写真3】北町新町線の通学時間帯の状況



2-6. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(救急搬送)

- 矢吹町で唯一の2次救急医療機関である会田病院への搬送は、町外(広域)・町内ともに、国道4号が救急搬送ルートとなる。
- 会田病院への搬送実績では、矢吹町内からの搬送が4割を占め、そのうち7割は町の中心部であるJR東側からの搬送となっている。
- 対策案の評価については、病院への搬送ルートを踏まえ、広域搬送及び対象地域内の搬送についてもアクセス性に配慮した計画とする必要がある。

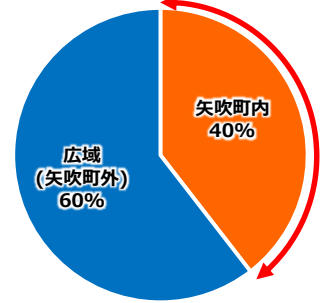
【図1】会田病院および公共施設等の立地状況



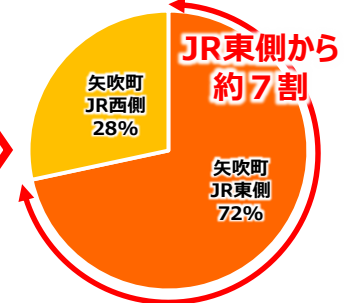
【表1】会田病院の概要

開設年月	昭和21年1月(昭和42年救急病院指定(2次))	病床数	193床
診療科目	18診療科 内科,呼吸器内科,循環器内科,消化器内科,外科,呼吸器外科,消化器外科,整形外科,脳神経外科,形成外科,精神科,皮膚科,泌尿器科,婦人科,眼科,耳鼻咽喉科,リハビリテーション科,麻酔科	患者数	60,392人(平成29年度実績) うち矢吹町33,088人
		救急搬送 診察応需数	576件(平成30年度実績)

【図2】会田病院への
方面別搬送割合(H30)

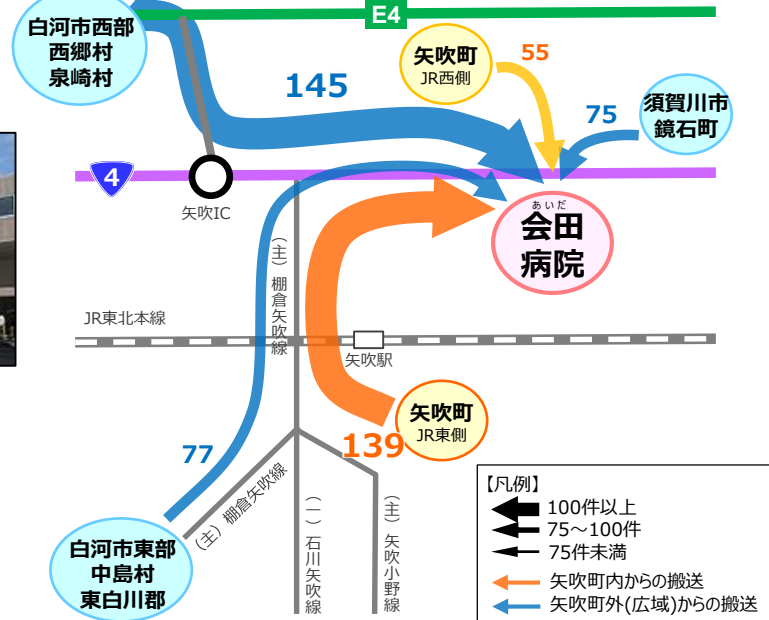


【図3】矢吹町内の方面別
搬送割合(H30)



出典：白河・須賀川消防本部

【図4】会田病院への救急搬送実績(H30)



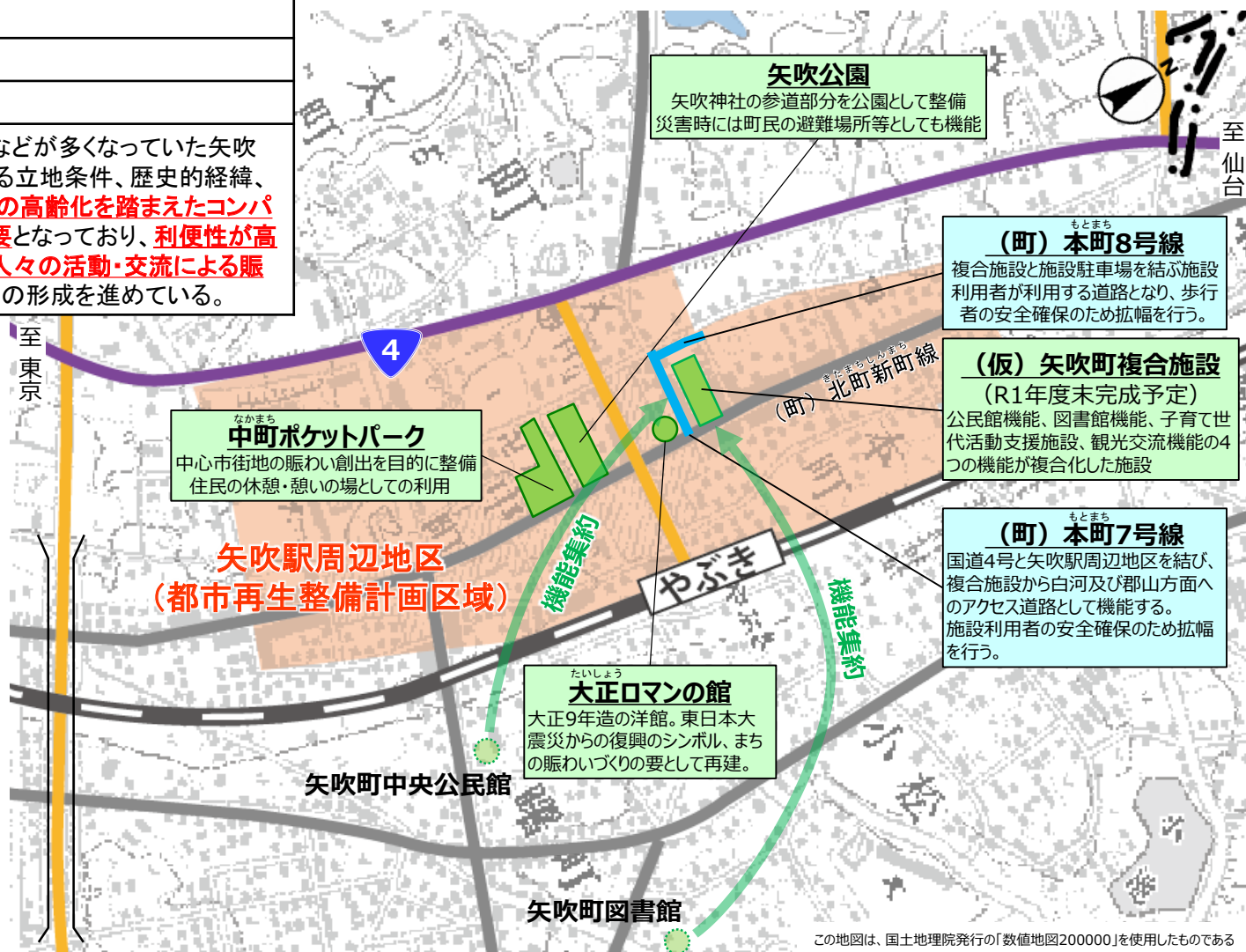
2-6. 意見聴取を踏まえた課題の再整理(まちづくり)

- 矢吹町では人口減少社会に対応したまちづくりとして、矢吹駅周辺地区への都市機能集積を進めているため、『矢吹駅周辺地区都市再生整備計画』を策定。
- 国道4号は、当該計画に面しており、対策案の評価については、都市再生整備計画の目標に沿った『コンパクトで利便性の高い市街地形成』に対する影響について検討を要する。

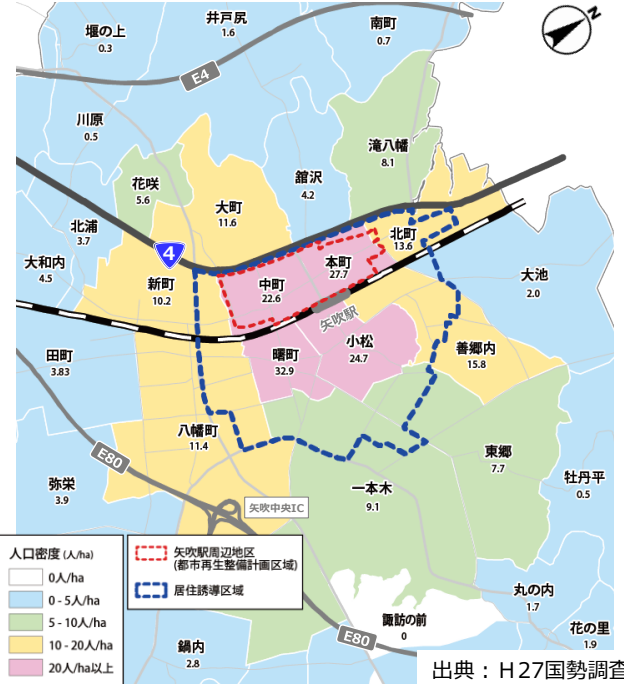
【表1】矢吹駅周辺地区都市再生整備計画の概要

計画面積	42ha
対象事業費	20億円
計画期間	2015年度～2019年度
概要	近年、賑わいや活力が低下し空地などが多くなっていた矢吹駅周辺地区において、矢吹駅を有する立地条件、歴史的経緯、都市基盤の整備状況を活かし、 住民の高齢化を踏まえたコンパクトで歩いて暮らせるまちづくりが重要 となっており、 利便性が高く魅力のある市街地の形成 や多くの 人々の活動・交流による賑わいと活力の創出 を目標に都市空間の形成を進めている。

【図2】矢吹駅周辺地区都市再生整備計画の主な事業



【図1】矢吹町の人口密度



この地図は、国土地理院発行の「数値地図200000」を使用したものである

2-7. 評価項目の再整理

- 第2回意見聴取を踏まえた課題の再整理により、評価項目及び配慮すべき事項の見直しを行った。
- 交通安全の確保には歩行者ネットワークの視点を追加、救急医療には実際の救急搬送ルートを踏まえた視点を追加。
- 配慮すべき事項については、意見聴取により挙げられた意見をもとに、評価項目を見直した。

【表1】評価項目の設定

課題	政策目標	求められる機能	評価項目
交通混雑	交通の円滑化	・交通容量不足を解消し、混雑を緩和できるか	・交通容量の確保
交通事故	交通安全の確保	・交通事故が少なく歩行者が安全に通行できるか ・地域の歩行者ネットワークの安全性を確保できるか	・交通事故の低減 ・歩行者ネットワークの安全確保
企業活動	物流を支える道路ネットワークの強化	・東北道(IC)等までのアクセス性・定時性の向上により物流の効率化を図ることができるか	・ICまでのアクセス性・定時性の向上
救急医療	安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保	・混雑区間における加減速の発生回数の減少と迅速な救急搬送が可能になるか ・対象地域内から2次救急医療施設へのアクセスを向上することができるか	・救急搬送ルートの走行性・速達性の向上 ・救急搬送における対象地域内からの利用性向上

【表2】配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
地域の環境	・自然環境(動植物、埋蔵文化財包蔵地)や沿道環境(騒音・振動)への影響について
地域の土地利用	・市街地の利便性向上や支障物件等の影響について
経済性	・事業費

3. 対応方針(原案)の検討

3-1. ルート帯案の検討(施策目標と対策案)

- 当該地域の道路交通状況や、地域の課題等をふまえ政策目標を設定し、これを達成するための機能を有する対策案を複数設定。
- 対策案を検討する上では、地域の土地利用および生活環境や自然環境、コストなどに配慮。
- 政策目標を達成するための対策案について主要なコントロールポイントに配慮し2案を設定。

- 当該地域の政策目標
- 地域・道路の状況と課題
- 地域の将来像
- 住民や企業等への意見聴取結果

政策目標

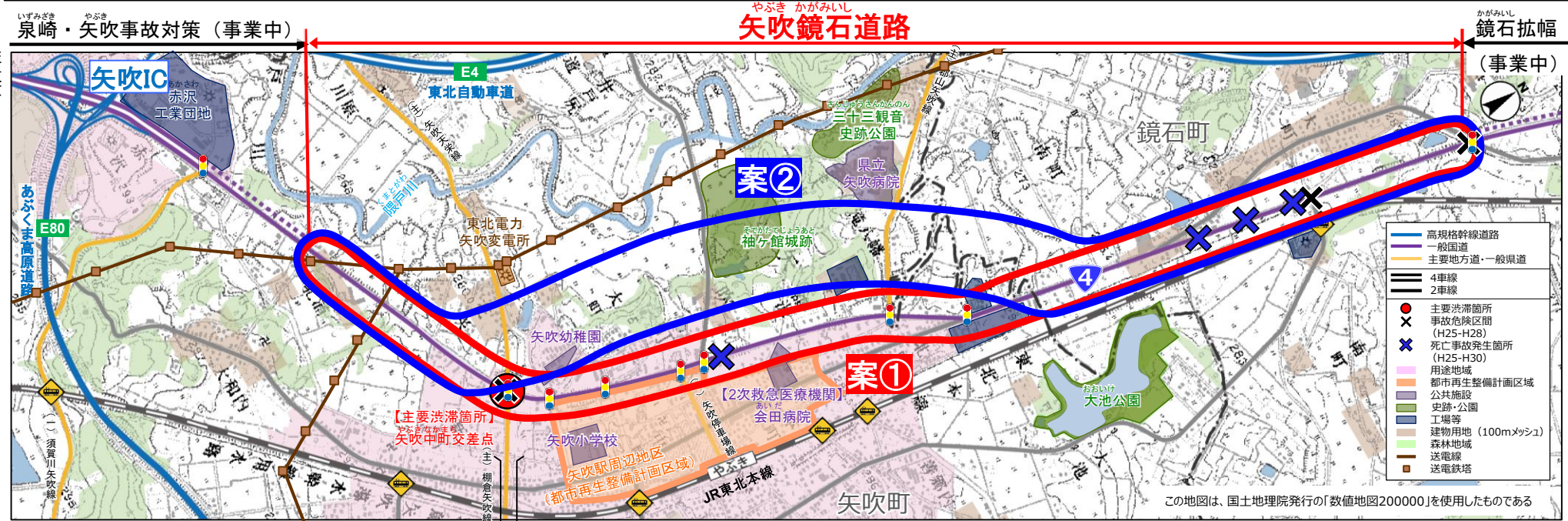
以下の項目を目的に、安全・安心で円滑な走行空間を確保するとともに、物流、救急搬送を支援する道路ネットワークの確保

- 交通の円滑化
- 交通安全の確保
- 物流を支える道路ネットワークの強化
- 安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保

- 対策案を検討する上での配慮事項
- 地域の環境 (自然環境、生活環境)
- 地域の土地利用 (まちづくり、道路整備に影響する店舗・家屋)
- 経済性 (事業費)

政策目標を達成するための考えられる対策案

- 【案① 現道拡幅案】 全線、現道を4車線拡幅する案**
- 【案② 部分バイパス案+現道拡幅案】 市街地部は、バイパス(4車)で回避、前後の現道部は4車線拡幅する案**



3-1. ルート帯案の検討(複数案の比較・評価)

○住民、事業者アンケートでは、重視すべき項目として政策目標の4項目への意見が多く寄せられ、【案①】は【案②】と比べ、「交通安全の確保」「安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保」の面で優れている。

【表1】複数案の比較・評価

評価項目	【案①】 現道拡幅案	【案②】 部分バイパス+現道拡幅案	
ルート概要	・全線、現道を4車線拡幅する案	・市街地部はバイパス(4車)で回避、前後の現道部は4車線拡幅する案	
整備イメージ			
区間延長	約5km	約5km	
交通の円滑化	○ ・全線の4車線化により交通容量を確保する ・市街地部の信号集約と必要な右折レーン設置等を行うことにより、主要渋滞箇所(矢吹中町交差点)等の混雑が緩和する	○ ・4車線化+バイパス整備により交通容量を確保する ・市街地部は通過交通がバイパスに転換するため、主要渋滞箇所(矢吹中町交差点)等の混雑が緩和する	
交通安全の確保	◎ ・渋滞の解消により渋滞に起因した事故が減少する ・中央分離帯の整備により、正面衝突等の重大事故が減少する ・現道4号の両側に歩道が整備され、 通学路としても利用出来る安全安心な歩行空間が確保される	○ ・市街地部を通過する交通がバイパスに転換し、渋滞に起因した事故が減少する ・中央分離帯の整備により、正面衝突等の重大事故が減少する ・国道4号として歩道の連続性は確保されるが、バイパスに平行する 現道部の歩道不連続はそのまま残る。	
物流を支える道路ネットワークの強化	○ ・矢吹ICへのアクセス性・定時性が向上する	○ ・矢吹ICへのアクセス性・定時性が向上する	
安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保	◎ ・矢吹IC経由などの広域搬送における走行性・速達性が向上 ・ 矢吹町からの搬送に対しては、最短経路が整備され利用性が高い	○ ・矢吹IC経由などの広域搬送における走行性・速達性が向上 ・ 矢吹町からの搬送に対しては、迂回となり利用性が低い	
地域の環境	自然環境等への影響	○ ・既往文献では、ルート帯に重要な動植物は確認されていない	○ ・既往文献では、ルート帯に重要な動植物は確認されていない ・ 埋蔵文化財包蔵地に対する調整を要する
	沿道環境(騒音・振動)への影響	○ ・現道の交通量は変わらないため、 沿道環境は現状どおり保全される	◎ ・市街地部は通過交通がバイパスに転換するため、 沿道環境は一層良好となる
地域の土地利用	まちづくり	◎ ・現道4号の歩行空間が再整備されることから、 利便性の高い市街地形成に寄与する	△ ・現道4号が未整備となるため、 利便性の高い市街地形成に寄与しない
	支障店舗・家屋数	○ ・支障となる店舗・家屋が約50件となり案②に比べ多い	◎ ・支障となる店舗・家屋が約30件となり案①に比べ少ない
経済性*	- ・約110~130億円	- ・約140~160億円	

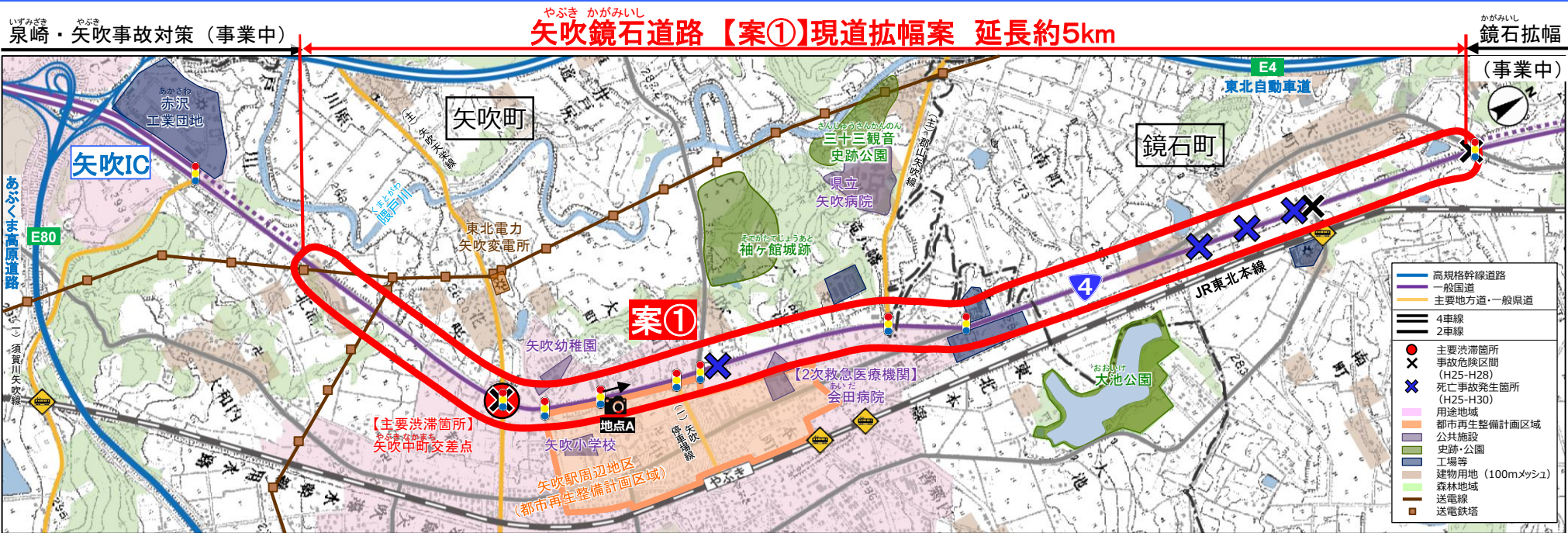
政策目標

配慮すべき事項

*現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

【凡例】◎：改善する・満足する ○：一部改善する・やや満足する △：改善しない・満足しない

3-2. 対応方針(原案)の検討



この地図は、国土地理院発行の「数値地図200000」を使用したものである

沿線住民・事業者への意見聴取、企業・関係機関等へのヒアリングの主な意見

【ルート帯案について】

- アンケート調査では、政策目標である「交通の円滑化」「交通安全の確保」「物流を支える道路ネットワークの強化」「安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保」に関する意見が多く寄せられた。
- ヒアリング調査では、「通学路の安全性確保」、「救急搬送ルートとしての利用」、「埋蔵文化財の包蔵地で観光資源でもある袖ヶ館城跡に対する配慮」、「コンパクトで利便性の高い市街地形成」といったルート検討に必要な視点が得られた。

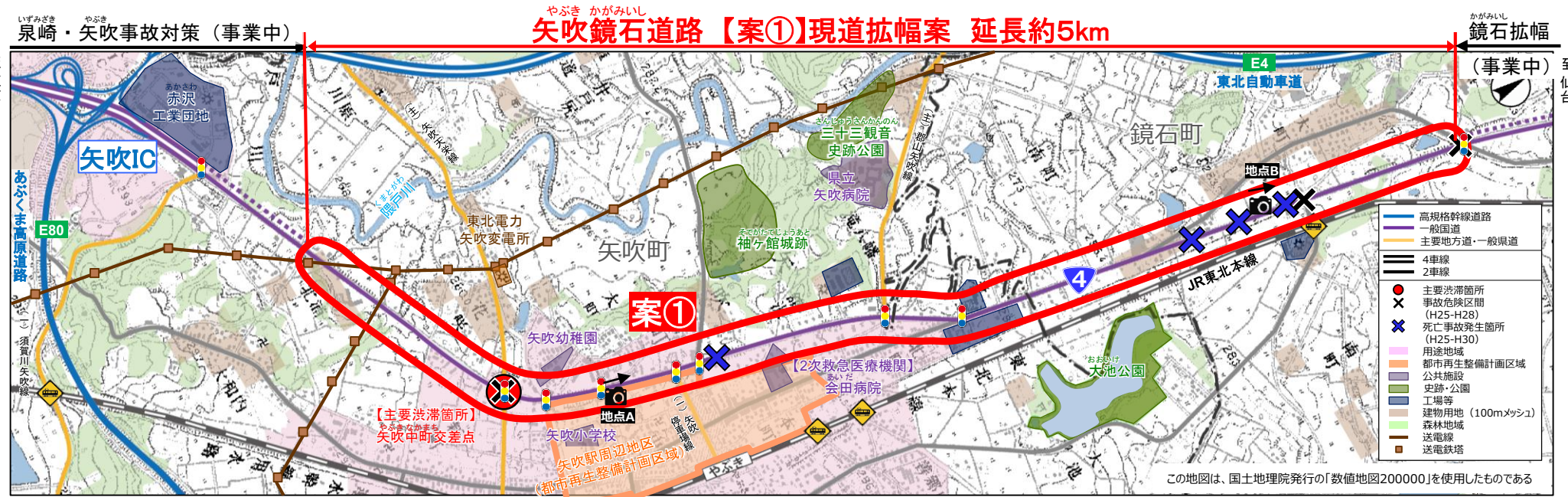
施策目標の達成見込み及びルート帯選定にあたって重視すべき項目について、意見聴取結果を踏まえて評価

ルート帯案の考え方

- 地域の課題を解決するための政策目標である「交通の円滑化」「交通安全の確保」「物流を支える道路ネットワークの強化」「安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保」に寄与し、対応策として最も優れている**案①現道拡幅案**とする。
- また、新たな課題として整理した事項についても、**案①現道拡幅案**が対策案として最も優れていることを確認した。

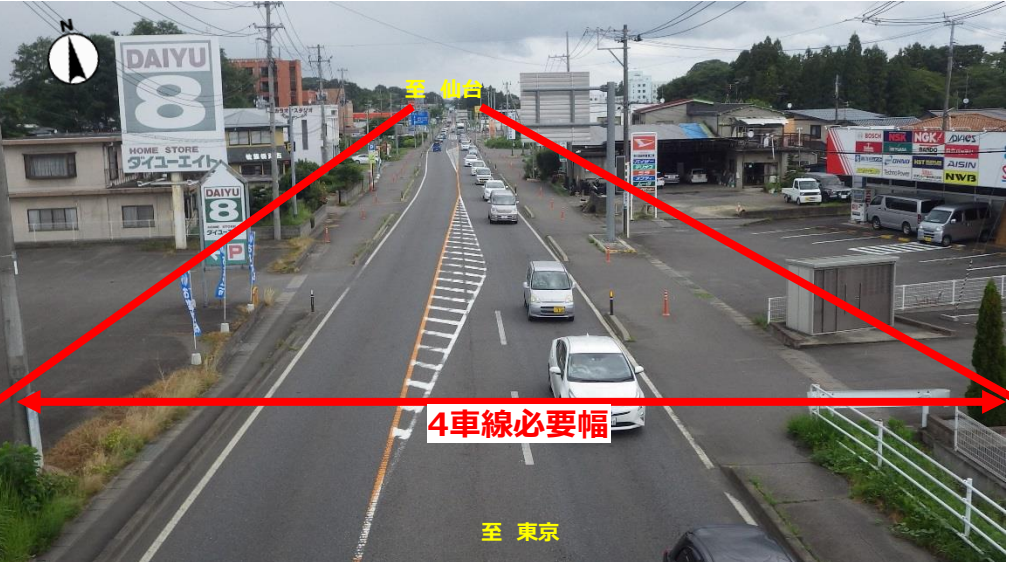
3-2. 対応方針(原案)の検討

○国道4号沿道では、店舗や事業所等の土地利用が行われているが、4車線必要幅の範囲内には建物等の支障物が少ない状況。



【写真1】国道4号矢吹町中心部(地点A)

【写真2】国道4号鏡石町南部(地点B)

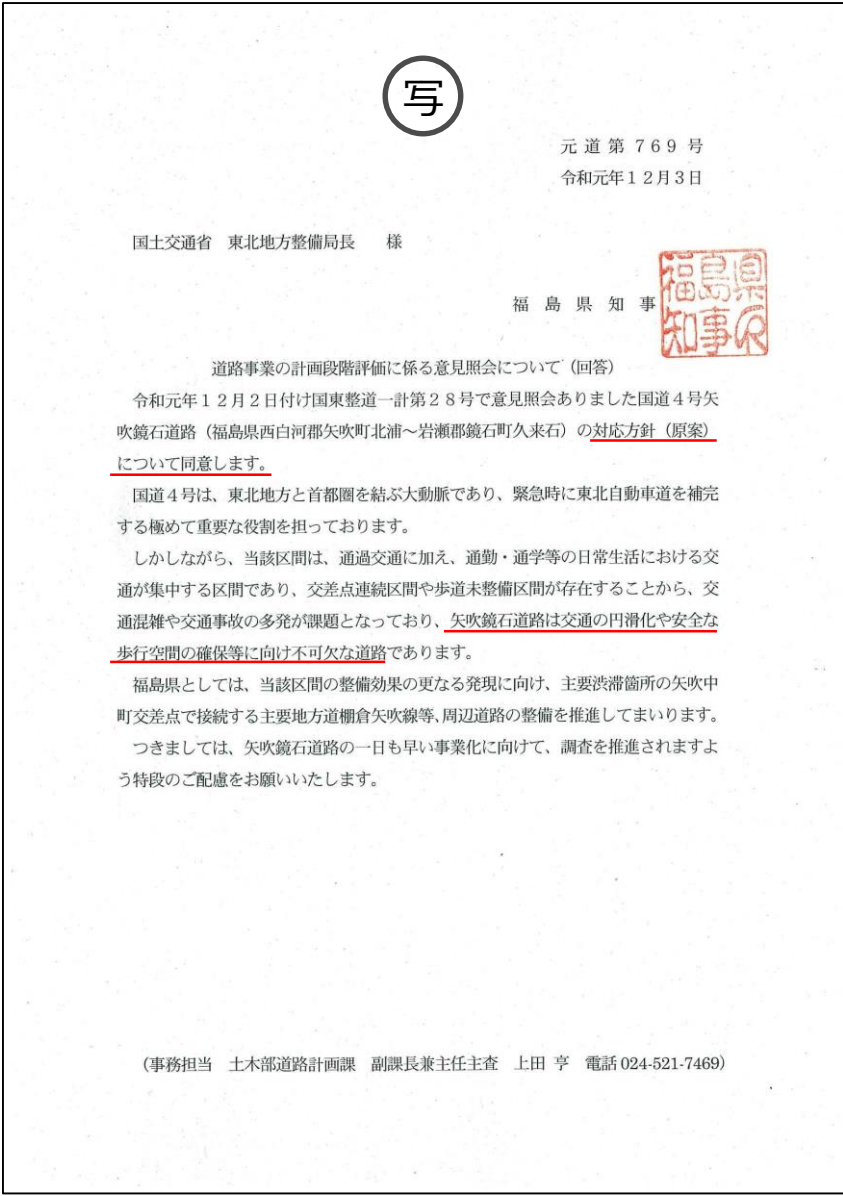


4. 自治体への意見照会結果

4. 自治体への意見照会結果【対応方針(原案)に対する意見】

■意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
福島県	<p>国道4号矢吹鏡石道路(福島県西白河郡矢吹町北浦～岩瀬郡鏡石町久来石)の<u>対応方針(原案)について同意します。</u></p> <p>当該区間は、<u>通過交通に加え、通勤・通学等の日常生活における交通が集中する区間であり、交差点連続区間や歩道未整備区間が存在することから、交通混雑や交通事故の多発が課題となっており、矢吹鏡石道路は交通の円滑化や安全な歩行空間の確保等に向け不可欠な道路であります。</u></p>



5. 対応方針(案)のまとめ

5-1. 対応方針(案)

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- 交通の円滑化
- 交通安全の確保
- 物流を支える道路ネットワークの強化
- 安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保



【地域の意見聴取結果】

国道4号の課題	○「交通混雑が発生」、「交通事故が多発」、「企業のトラック輸送に支障」、「救急搬送の支援」について道路利用者の多くが問題と認識。
道路整備の必要性	○住民や企業など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。
ルート検討において重視すべき事項	○地域が感じてるルート検討において重視すべき項目は「交通の円滑化」、「安全性の確保」、「救急搬送環境の確保」、「物流支援」が多い。 ○ヒアリング調査では、「通学路の安全性の課題」、「救急搬送ルートとしての利用」、「埋蔵文化財の包蔵地で観光資源でもある袖ヶ館城跡に対する配慮」、「コンパクトで利便性の高い市街地形成」について意見が挙げられている。
自治体の意見	○福島県から案に賛成するとともに、早期事業化を要望する意見をいただいている。

2. 対応方針(案)

● 計画及びルート帯案

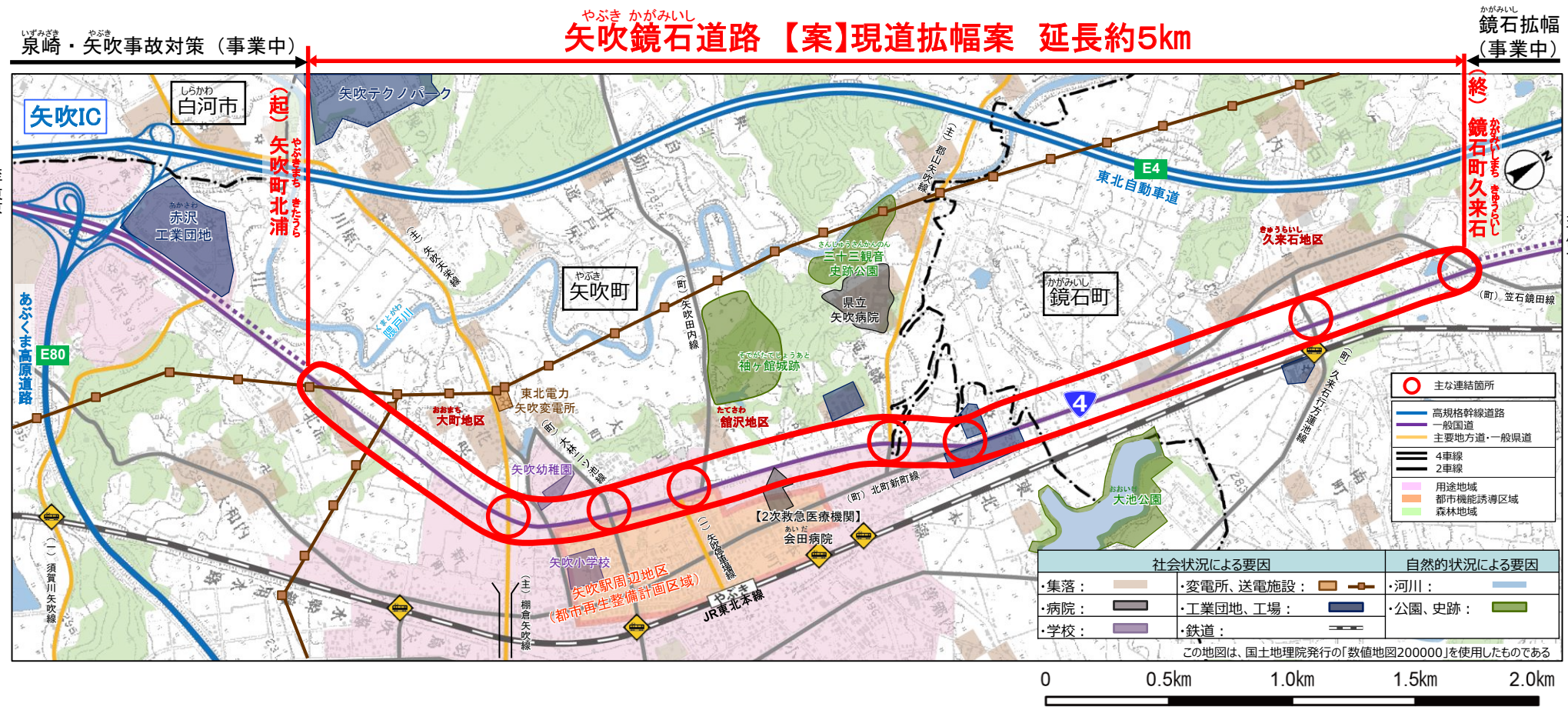
地域の課題を解決するための政策目標に寄与し、対応策として最も優れている現道拡幅案とする。

【理由】

- 地域の課題を解決するための政策目標（「交通の円滑化」「交通安全の確保」「物流を支える道路ネットワークの強化」「安定した救急搬送環境をもたらす道路ネットワークの確保」）を達成。
- 地域の意見聴取結果で得られた地域のニーズに応えられる。

5-2. 対応方針(案)まとめ

○計画及びルート帯案については、全線の4車線拡幅と必要な道路幅員の確保により、交通容量を拡大し、渋滞の緩和による円滑な物流の確保、安全・安心な通行空間の確保、安定した救急搬送ルートの確保が図られる現道拡幅案とする。



【計画諸元】

<区間> (起点) 福島県西白河郡矢吹町北浦
(終点) 福島県若瀬郡鏡石町久来石

<延長> 約5km

<構造規格等> 第3種1級、4車線、設計速度80km/h

